

四街道市人口ビジョン(概要)

I.人口の現状分析

- ・人口は増加傾向も近年は増加率が縮小
- ・生産年齢人口・年少人口は減少、老年人口は増加
- ・1世帯あたり親族人員は減少（H22年 2.67人）
- ・社会増を維持（特に20～30代と未就学年齢の転入大）
- ・H22年以降自然減（出生数は横ばい、死亡数は増加）
- ・合計特殊出生率は近年回復傾向（H26年 1.46）
- ・既婚率は減少傾向、若年層ではやや回復の兆し
- ・H12年をピークに就業者数は減少、女性割合は増加
- ・企業数、事業所数は減少傾向

〈人口の変化が本市の将来に及ぼす影響〉

- 労働力不足・担い手不足による地域経済の縮小
- 商業や公共交通の衰退など生活関連サービス水準の低下
- 市財政硬直化による公共施設の更新困難
- 空き家の増加による防災、防犯面など環境の悪化
- 地域コミュニティの維持困難、地域力の低下

II.人口の将来展望

(1)将来展望に必要な調査・分析

- ・結婚に対する意向は高いが、出会いの場が不足
- ・理想の子ども数は2人が最多、次いで3人（計8割）
- ・子育てに親の協力が得られた人は86.7%
- ・出産後の就業希望は8割（実際に就業した人は5割）
- ・20～30代前半の男性が比較的起業に興味有

(2)目指すべき将来の方向

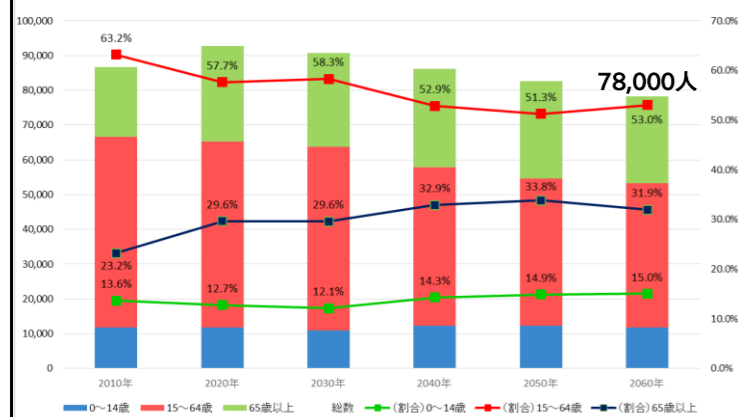
将来的に予測される人口減少社会を克服するためには、社会動態を見据えた移住・定住政策といった短期的な施策と、自然動態を見据えた出生率の上昇を目指す中長期的な施策とをバランスよく織り交ぜながら、効果的に推進することが重要です。

本市では、少子化・高齢化により将来的に見込まれる人口減少と人口構成の不均衡への的確な対応と、地域の特性を最大限に活かしたまち・ひと・しごと創生とを、オール四街道で進めていくこととし、次のとおり、本市の目指すべき将来の方向を掲げます。

四街道市への人の流れを創る
結婚・出産・子育ての希望をかなえる
地域における安定した雇用を確保する
安心で快適な暮らしを守る

(3)人口の将来展望

○本市は、社会増を維持するとともに、合計特殊出生率を2030年1.80、2040年以降2.07に改善させることで、2060年において、人口78,000人を維持することを目標とします。



四街道市まち・ひと・しごと創生総合戦略(概要)

対象期間：平成27年度～平成31年度

人 みどり 子育て を活かす地方創生

本市は、強みである「人」活力ある市民活動、「みどり」豊かな自然、「子育て」充実した子育て環境を活かし、魅力あふれる地域を創りあげていくことで地方創生を実現します。

基本目標1 “選ばれる”まちづくり ～四街道市への人の流れを創る～

- きて、みて、暮らしたい！と思えるまちをめざして**（シティセールスの推進、地域活動支援の充実）
 - 市内外に向けて様々な媒体を活用して情報を発信することにより、認知度の向上を図り、居住地としての魅力をPRしていきます。
 - 地域コミュニティを強化し、地域活動を通じた地域の絆を深めるとともに、市民活動の活性化を支援して新たな魅力の創出につなげます。
 - 「るるぶ四街道市」の発行、ポスターによるPR
 - SNS等による情報発信、移住者向けポータルサイトの整備
 - 市民自治組織への支援等による地域コミュニティの強化
 - みんなで地域づくりセンターの運営、コラボ四街道
- きて、みて、楽しい！と思えるまちをめざして**（ふるさと意識の醸成、地域資源を活かした取組の推進）
 - 文化歴史を知り、体感することで地域への誇りを醸成するほか、各種イベント等を通じて地域への愛着・ふるさと意識を高めます。
 - 眠っている観光資源を掘り起こし、これを磨くとともに、交流人口の拡大に向けた取組を進めます。
 - 市の魅力をPRできる各種イベントの共催・後援
 - ドラマチック四街道によるシビックプライドの醸成
 - 地域の魅力を体験できる着地型旅行商品の開発
 - 地元産品のPR、地域ブランドの創出

| | |
|-----|--------------------------|
| 目標値 | 転入者数の増加 子育て世代の転入超過を維持 |
|-----|--------------------------|

| | |
|-----|--|
| KPI | 市名の認知率77% 市について何かしら知っている率40% コラボ四街道交付終了後活動団体数21団体 区・自治会加入率75% |
|-----|--|

| | |
|-----|--|
| KPI | 四街道を好きと感じる人の割合50% 住み続けたいと思う人の割合増加 四街道に来たことがある率30% 地域ブランド開発数2件 よめーる登録者数5,500人 |
|-----|--|

基本目標2 “未来につなぐ”まちづくり ～結婚・出産・子育ての希望をかなえる～

- ともに歩みたい！と思えるまちをめざして**（結婚支援の充実）
 - 人口減少（少子化）の要因の1つである未婚化・晩婚化対策のため、若い世代の出会いの場を確保するなどの取組を進めます。
 - 市民団体等が企画運営する婚活事業等に対する支援
 - 結婚記念事業の実施
- ともに分かち合いたい！と思えるまちをめざして**（子育て環境の充実、地域子育て支援の充実、教育環境の充実）
 - 市民が希望どおりに子どもを持ち、安心して子育てできるよう、様々な視点から子育て環境の充実を図ります。
 - 本市の強みである“みんなで地域づくり”の視点を活かした、地域の子育て力・教育力の向上を図ります。
 - 子どもたちが、変化の激しいこれからの社会を夢を持ってたくましく切り拓けるよう、豊かな感性や強い心、確かな学力を育みます。
 - 子育て世代包括支援センターの整備
 - 私立幼稚園の夏休み預かり保育への支援
 - 三世帯同居・近居に対する補助
 - プレーパークや放課後子ども教室への運営支援
 - ファミリーサポートセンターの運営
 - 少人数教育、小中一貫教育の実践
 - 英検取得に対する支援等国際理解、外国語学習の推進

| | |
|-----|-----------------------|
| 目標値 | 年少人口の維持 合計特殊出生率の上昇 |
|-----|-----------------------|

| | |
|-----|----------------------|
| KPI | 婚姻件数400件 婚活支援件数7件 |
|-----|----------------------|

| | |
|-----|--|
| KPI | 子育て世代包括支援センターの整備1箇所 待機児童数0人 プレーパークの利用者数増加 放課後子ども教室の利用者数増加 ファミリーサポートセンター活動件数増加 小中一貫教育実施全17校 英検3級程度の取得率50% |
|-----|--|

基本目標3 “賑わいあふれる”まちづくり ～地域における安定した雇用を確保する～

- それぞれの働きたいがかなう！と思えるまちをめざして**（魅力ある仕事の創出支援、都市農業の推進）
 - 中心市街地の活性化に取り組むなど、商工業者に対する支援のほか、企業誘致、創業支援などに取り組み、新たな雇用を創出します。
 - 農業者の所得向上に向けた6次産業化の推進や、農業経営の安定に向けた支援等を行います。
 - 空き店舗の活用等による中心市街地の活性化
 - 創業支援事業計画による雇用確保
 - 6次産業化や販路拡大に向けた支援
 - 認定農業者の育成
- それぞれの能力が発揮できる！と思えるまちをめざして**（就労支援の推進）
 - 高齢者や障害者、出産・子育て後に仕事に復帰したい女性など、あらゆる方々の希望をかなえるための就業環境を整えます。
 - ハローワーク等と連携した各種セミナーの開催
 - 高齢者、障害者、女性の就業を支援する取組

| | |
|-----|----------------------|
| 目標値 | 就業者数の増加 事業所数2500所 |
|-----|----------------------|

| | |
|-----|---|
| KPI | 空き店舗活用数10件 新たに創業を支援した件数2件 農業付加価値額の増加 認定農業者（団体）数の増加 市内農産物を活用した試作品数4品 |
|-----|---|

| | |
|-----|--------------------------------------|
| KPI | 就労セミナー参加者が就職した割合増加 就業者に占める女性の割合増加 |
|-----|--------------------------------------|

基本目標4 “幸せささえる”まちづくり ～安心で快適な暮らしを守る～

- 住んで、いきいき！と思えるまちをめざして**（健康づくり活動の推進）
 - 市民の健康意識を高め、性別や年代に応じた健康づくりを進めるとともに、スポーツ・レクリエーション環境を整えます。
 - ライフステージに応じた健康づくりの推進
 - 総合型地域スポーツクラブの育成・支援
- 住んで、快適！と思えるまちをめざして**（質の高い住環境の推進、持続可能な行政運営）
 - 生活基盤の安定的な提供と整備、利用状況を踏まえた公共交通の確保、維持を図り、自然環境と都市機能が調和した住環境を整えます。
 - 人口減少や人口構成の不均衡を考慮しながら、効果的・効率的な行政運営を進めます。
 - 空き家等の実態把握・適正管理に向けた対応
 - 交通環境の改善や公共交通の確保・維持
 - 公共施設の戦略的な維持・更新
 - 機能分担による自治体間連携の強化
- 住んで、よかった！と思えるまちをめざして**（災害対応力の強化、防犯体制の充実）
 - 市の危機管理体制の強化するとともに、市民の防災意識をさらに高め、自助・共助・公助が一体となった地域防災力の向上を図ります。
 - 警察等の関係機関や地域と協力・連携した防犯対策の実施するとともに、防犯知識の普及・啓発により、市民の防犯意識を高めます。
 - 防災備蓄倉庫の整備、防災備蓄品の充実
 - 自主防災組織や消防団の育成・強化
 - 安心安全ステーションを中核とした防犯体制強化
 - 防犯カメラの活用による犯罪抑止

| | |
|-----|---------------------------------|
| 目標値 | 四街道が住み良いと感じる人の割合増加 社会増の傾向を維持 |
|-----|---------------------------------|

| | |
|-----|-------------------------------------|
| KPI | 各種がん検診平均受診率50% 総合型スポーツクラブ会員数500人 |
|-----|-------------------------------------|

| | |
|-----|--|
| KPI | 市民一人当たりの都市公園面積8.9㎡/人 バス路線1日平均利用客数12,000人 新たに検討した広域連携事業数1件 経常収支比率の改善 |
|-----|--|

| | |
|-----|---|
| KPI | 防災備蓄食料の充足率100% 消防団員数300人 刑法犯罪認知件数をゼロに近づける 青色防犯パトロールの実施回数維持 |
|-----|---|